

歯科保健目標

歯と口の健康づくりからはじまる、生涯にわたる心身の健康づくり
一児童生徒一人ひとりのニーズ、発達段階に応じた支援を通して一

本校は、知的障害、肢体不自由、病弱のお子さんを対象とした特別支援学校で、小学部、中学部、高等部合わせて146名の児童生徒が在籍しています。

歯科検診・歯科講習会



歯科検診では、検診が苦手な児童生徒は事前に検診の練習をするなどして当日を迎えました。当日は、校医の先生が1人ひとりを丁寧にみていただきました。また高等部の生徒は歯科検診後に、歯科衛生士の方による歯みがき指導も受け、日頃の自分の歯みがきを見直す機会となりました。

日常の歯みがき指導



給食後は、クラスで歯みがき指導を行っています。それぞれのクラスで、児童生徒の日常の歯みがき習慣の確立にむけて、掲示物を貼ったり、アプリを活用したりするなど個々に応じた指導を行っています。

保健だより・歯みがきカレンダー



児童生徒、保護者を対象に定期的に保健だよりを発行しています。保健だよりの中に歯科検診の結果や歯科医受診状況なども掲載するようにしました。また歯と口の健康週間や長期休みには、歯みがきカレンダーにも取り組みました。

自治会保健委員会



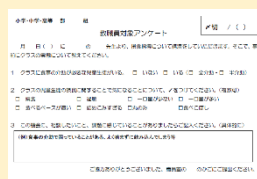
高等部保健委員会の生徒が、歯と口の健康に関するポスターを作成し、校内に掲示しました。また歯と口の健康週間には、給食の時間に歯みがきについてと、よく噛んで食べることの大切さについて校内放送をしました。

歯ッピー給食・かみかみ週間



毎月8日は歯ッピー給食の日とし、カルシウムがたっぷり入って、かみごたえのある給食メニューとなっています。また、6/4～6/10はかみかみ週間とし、よく噛むことを意識したメニューでした。

摂食指導研修会



全教職員を対象に、摂食指導に関する研修会を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として、遠隔で実施しました。講師の先生から、摂食指導の基本的なことについての講義と、本校の児童生徒の摂食の様子の動画から個別にご助言をいただきました。